



水道端・宮の本公園リニューアル キックオフ会議

2024年10月25日(金)18:30～

白川地域コミュニティセンター多目的ホール

熊本市中央区土木センター維持課

次第

1. あいさつ

2. リニューアルの進め方について

- ・はじめに
- ・公園が抱える課題
- ・公園リニューアルについて
- ・水道端公園と宮の本公園の概要
- ・目標の確認
- ・他事例の紹介
- ・ワークショップ等の進め方について

3. 質疑応答

はじめに

■緑の役割

1 都市環境の維持・改善



2 良好な都市景観の形成



3 都市の安全性の確保



4 健康づくり・レクリエーション空間の提供



5 精神的充足



持続可能な「森の都」の実現



◆公園の充足傾向と老朽化

- ・一人当たり都市公園等面積は、目標値に近づきつつある状況
- ・高度経済成長期時代に多くの公園がつくられており、その多くが今も使われている
- ・安全な公園利用への懸念、利用者ニーズとの相違（少子高齢化社会などの社会情勢の変化）により、公園利用が低下しているものも見られる



写真 老朽化した公園施設

◆限られる維持管理経費

- ・都市公園が増加する一方で、維持管理にかかる財源は限られており、今後も同様の傾向が想定される
- ・機能復旧を目的とした維持管理が大部分を占める
- ・今後、老朽化した公園が一斉に改修時期を迎える

公園が抱える課題／本市の取り組み



(2) 既存公園の有効活用

誰もが何度も利用したくなる公園となるよう、市民や事業者と協働する等、既存公園の有効活用を進めます。

① 人にやさしい公園づくり★

・長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の計画的な改修を進めるとともに、改修にあたってはバリアフリー化を行うなど人にやさしい公園づくりを進めます。

② 【新規】利用しやすい公園づくり★

・公園の使い方や維持管理について、地域の意見を踏まえ柔軟な対応を検討していきます。



近見 7 丁目ふれあい公園

「熊本市緑の基本計画（熊本市）」第4章4. 具体的な事業 抜粋

（国からの支援）

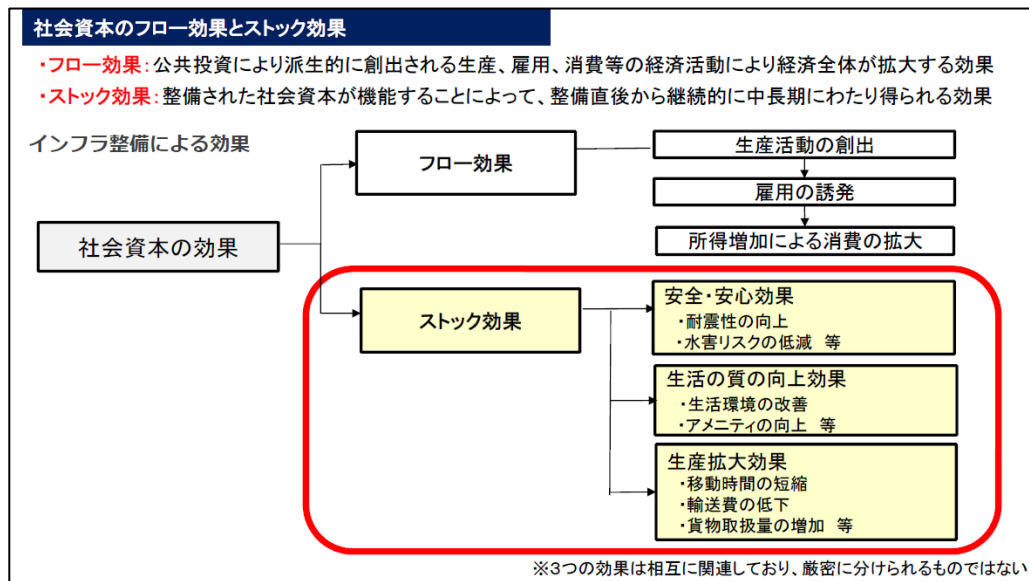
- ・公園施設長寿命化対策支援事業
- ・都市公園ストック再編事業 など

公園リニューアル(都市公園ストック再編事業)について



◆戦略的な公園リニューアルの必要性

・国の指針でも、計画的な維持管理の必要性が示され、**公園ごとや同一公園内でも施設ごとに、その性格や目標とすべき管理水準に応じて、メリハリ**をつけて戦略的な施設運用・リニューアルを行っていくことが望ましいとされている。



「都市公園のストック向上に向けた手引き(国土交通省)」抜粋

利用者ニーズに合わせて、公園の“機能”や“立地”を再編

公園リニューアル(都市公園ストック再編事業)について



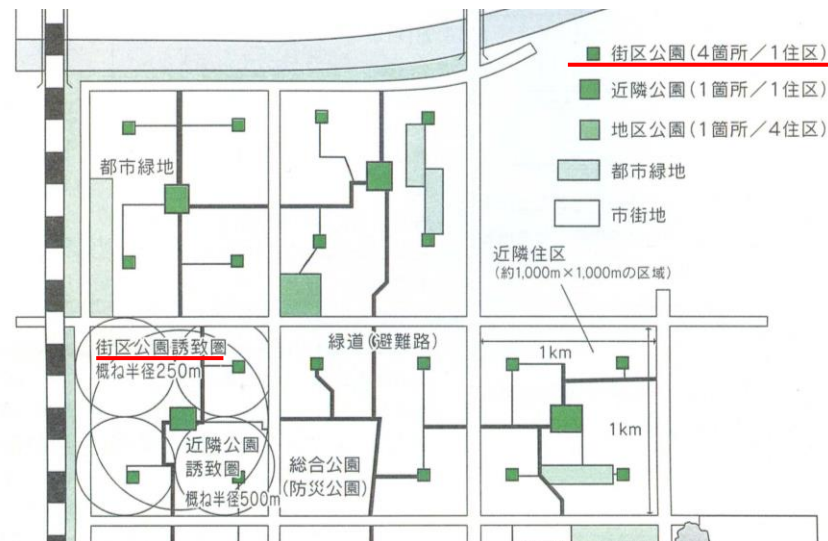
◆公園リニューアルへの着手

本市においても、最も地域に身近な**街区公園**の中から、**基本方針（優先順位）**を検討したうえで**選定**し、公園リニューアル事業（都市公園ストック再編事業）をはじめめる。

街区公園とは？

1箇所あたり面積2500㎡を標準として配置する都市公園
(誘致距離250mの範囲内で誘致)

街区公園数 972公園
/都市公園数 1094公園
※2022.4.1現在



◆モデル公園として水道端・宮の本公園を選定

以下の観点で**リニューアル効果が高いと想定**される両公園を、モデル公園として選定するもの。

- ・整備後60年以上が経過している
- ・街区公園が隣接している
- ・公共交通等の利便性が高いエリアの公園
- ・公園周辺に幅広い世代が居住している
- ・公園内もしくは隣接して集会場がある

水道端公園と宮の本公園の概要



◆水道端公園

- ・ 4,734㎡
- ・ 街区公園 / 白川校区
- ・ 1963年開設 / 土地区画整理事業
- ・ 公園内に老人憩の家（高齢福祉課所管）あり
- ・ 公園愛護会あり



◆宮の本公園

- ・ 2,063㎡
- ・ 街区公園 / 大江校区
- ・ 1967年開設 / 土地区画整理事業
- ・ 公園愛護会無



リニューアルの例示

【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「みなおす」。

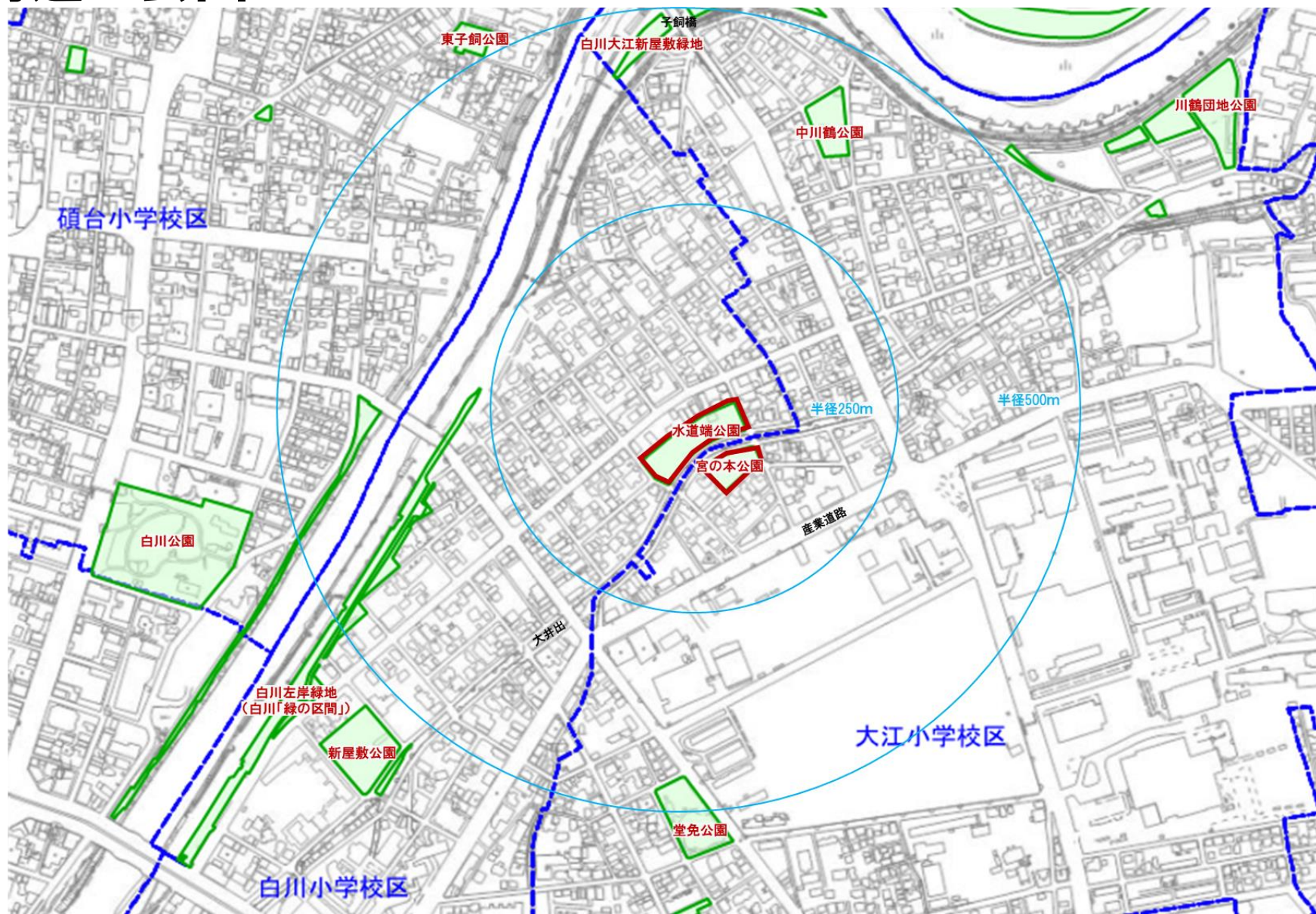


「都市公園の再編・集約化の促進（国土交通省）」抜粋

隣接している公園では、一体的に、機能をみなおすことが可能

水道端公園と宮の本公園の概要

周辺の公園



水道端公園と宮の本公園の概要



災害時の位置づけ

【水道端公園】

- ◆防災倉庫
(自治会・自主防災
クラブ管理)



【白川公園】

- ◆指定緊急避難場所

施設種別	地震	洪水	高潮	土砂	津波
公園	○	×	○	○	○

- ◆防災倉庫 (市管理)

【子飼橋上流左岸】

- ◆指定緊急避難場所

施設種別	地震	洪水	高潮	土砂	津波
河川敷	○	×	○	○	○

【白川中学校】

- ◆広域避難場所
- ◆指定緊急避難場所

施設種別	地震	洪水	高潮	土砂	津波
運動場	○	×	○	○	○
校舎	○	△	○	○	○
体育館	○	△	○	○	○

【白川小学校】

- ◆指定緊急避難場所

施設種別	地震	洪水	高潮	土砂	津波
運動場	○	×	○	○	○
校舎	○	△	○	○	○
体育館	○	△	○	○	○

白川公園

水道端公園

宮の本公園

白川中学校

白川小学校



もう一度、、、

街区公園とは？

目標の確認



○都市公園の種類

種類	種別	内容
住区基幹公園	<u>街区公園</u>	<u>もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園</u> で誘致距離250mの範囲内で1箇所当たり面積0.25haを標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり1箇所を誘致距離500mの範囲内で1箇所当たり面積2haを標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離1kmの範囲内で1箇所当たり面積4haを標準として配置する。都市計画区域外の一定の町村における特定地区公園（カントリーパーク）は、面積4ha以上を標準とする。

国土交通省ホームページより抜粋

**周辺居住者の利用
を目的とした公園**

目指す公園の姿

1. 地域のニーズにあった公園

2. 両公園が一体的に利活用される公園

- ・ 公園利用者には、管理の境、校区の境は関係ない
- ・ 効率的な機能分担と、運営上の工夫で一体的な利活用を検討したい

3. 持続的に利用される公園

- ・ ハード ⇒ 長期的に形状・機能を維持できる設えの検討
- ・ ソフト ⇒ 柔軟で長期的に無理のない運営体制の構築

(参考)利用者にとって良い公園とは？

良い公園の定義はなく、考え方は人それぞれですが、
「推しの公園を育てる！（一般社団法人みんなの公園愛護会）」を引用すると、

良い公園 =
“手入れが行き届いた公園”

抜粋

「近所の公園を20個くらい回ってみると、公園の雰囲気は、設備の新しさや日当たりなどとは関係なく、人の手が入っているか？、関わり続けている人がいるか？によって大きく異なっていることに気が付きます。

（中略）

行政の力だけではなく、まちの公園は「公園を良くしよう」と思い行動する人たちの手で守られているのです。」

◆目指す公園をつくるには**地域の力が不可欠**



◆可能な限り、地域の声を反映し、
“まちのみんなで公園づくり”を行いたい



◆**公園リニューアル**をきっかけとし、
地域と一緒に、
より良い運営体制の検討を進めたい

北九州市の事例

～公園リニューアルの事例～



(ヒアリング結果)

- ・15年ほど前から事業を行っている
- ・小学校区単位を事業単位として、ワークショップでリニューアル対象公園を決定している。
- ・地域との対話により、校区毎の公園の役割分担を行っている
(走り回って遊べる公園、健康づくりの公園 など)



「『地域に役立つ公園づくり』について（北九州市）」抜粋

北九州市の事例

～公園リニューアルの事例～

主な整備事例 ②

■見通しの確保、園路整備

<整備前>



<整備後>



新堤公園(戸畑区)

■入口の バリアフリー化



■花壇の整備



■健康器具 の整備



このほか、新しい施設を整備するだけでなく、公園の慢性的な悩みを解決するよい機会でもあります。

例えば、・樹木の整理をして見通しをよくしたい、・広場の排水が悪いので、舗装をやり直したい などなど

北九州市の事例

～公園リニューアルの事例～



新堤公園（2024年夏撮影）

**公園のハード整備としては同程度を想定
ゼロからの整備ではなく、使えるものは使う！**

白川「緑の区間」の事例

～協働運営の事例～



- ・「白川夜市」が開催される白川「緑の区間」では、『白川左岸緑地「緑の区間」愛護会』が、除草・トイレ清掃作業を実施し、より、きめ細かな運営を行っている。
⇒ **熊本市公園地域パートナー事業**を活用し、熊本市から委託料を支出

- ・自治会、地域団体、行政で組織する**協議会**を定期的開催し、河川（公園）を利活用する上での**ルール作り**を検討している。



近隣の協働事例を参考としつつ、
水道端公園・宮の本公園に合っ
たかたちを検討する必要あり



左近山みんなのにわ(神奈川県左近山団地)の事例

～住民ワークショップの事例～



【Webリンク】

[住民それぞれの「これやりたい！」を詰め込んだ、老若男女が楽しめる団地の広場「左近山みんなのにわ」\(ソトノバ・アワード2017一次WEB投票記事\) - ソトノバ | sotonoba.place](https://sotonoba.place)

(要点)

- ・老朽化したマンモス団地にある広場のリニューアル
- ・「広場でどんなことしたい？」から広場を計画
- ・整備中も、途中途中でみんなでDIY
- ・オープニング後は、計画中に考えた「やりたいこと」を実践



今回のリニューアルにおいても、
「公園にこれが欲しい！」 < 「公園でこれがやりたい！」
を引き出すような公園づくりを行いたい！

千代田区プレーリーダー制度の事例

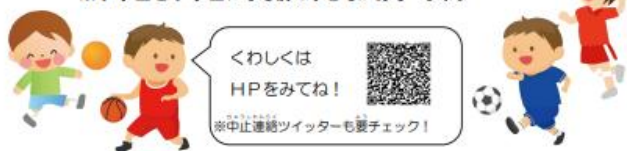
～大学生×こどもの事例～



★**申込不要・直接現地へ!! 道具の貸し出しもあります!!**

★**みんなが自由に安心してあそべるように、お手伝いをしたり、見守ってくれるプレーリーダーがいます!!**

※雨がふったり、熱中症の危険性が高い日は**中止**です。
※小学生と小学生になる前の子どもがあそべます。



みんなで楽しくあそぶために、遊び場のやくそくをまもろう!!

- ・あそび場の利用は「自己責任」です! みんなケガをしないように気をつけよう!
- ・プレーリーダーから注意があったときは…きちんとすることをきこう!
- ・ほかのみんなとゆずりあいながら、いっしょに楽しもう!!
- ・あそぶときは、まわりの人に迷惑がからないように気をつけよう!

「みんなでボール遊びをしよう(千代田区)」抜粋

周辺に学校が多い新屋敷地区においても、
実現可能性あり?

みんなの公園愛護会の事例

～多様な清掃活動事例～



[HOME](#) [ABOUT](#) [みんなの公園愛護活動レポート](#) [読み物とデータ](#) [お問い合わせ](#)

[HOME](#) > [みんなの公園愛護活動](#) > [公園愛護レポート](#)

KEYWORDS

[地域に広がる](#) [園芸を楽しむ](#) [運営のヒント](#) [イベント](#) [楽しみ方](#) [学校・保育園と一緒に](#) [行政との連携](#) [チームワーク](#)
[参加しやすさ](#) [自然環境を守る](#) [こだわりのグッズ](#) [みんなで畑](#) [清掃アイデア](#) [公園ルールづくり](#) [企業が活躍](#)



公園愛護レポート

2024/9/30

[代わる代わるみんなで守る緑いっぱい
の公園](#)

天下茶屋公園（大阪市）



公園愛護レポート

2024/9/3

[「掃除してきれいになったら自分も
みんなもいい気持ち」みんなで…](#)

加美正北ふれあい公園（大阪市）



公園愛護レポート

2024/3/26

[鶴見緑地は私の庭！花博からずっと
活動を続けています](#)

鶴見緑地（大阪市）

みんなの公園愛護会の事例

～多様な清掃活動事例～



【Webリンク】

[近所の家族でおしゃべりしながら気軽に楽しく - 一般社団法人 みんなの公園愛護会 \(park-friends.org\)](http://park-friends.org)

(要点)

- ・ 公園そうじは貴重なおしゃべりの時間
- ・ はじめは近所の3家族で開始
- ・ こどもが楽しめる工夫をいれる
- ・ 「無理をしないで、楽しんでやること」が楽しく続ける秘訣
- ・ 情報共有はLINEグループ



**「公園であそぶ」⇒「公園を育てる」
という意識をもつ周辺居住者を少しでも増やしたい！**

熊本地震における公園の事例

～公園における防災機能の事例～

「熊本地震における避難場所としての都市公園の役割と課題（公園管理運営研究所開発研究部）」を抜粋および参考とし作成



◆地震時の公園の使われ方

- ・実際の災害時には避難場所に指定されていない公園にも避難者があり、かつ公園は避難所でないにも関わらず、自動車での車中泊を通じて数日間の避難生活を送っていることも確認された。
- ・集会所のある公園では、これらの施設が避難所、または炊き出しの拠点となった事例が多い。

◆今後の課題

- ・熊本地震では、地域の自治会、公園愛護会等が活躍したお陰で、身近な公園が避難場所として機能することができた。しかし、このような地域コミュニティの核となる組織の存続が、参加率の低下、高齢化の進行等により存続が危ぶまれている。
- ・配備する道具等は使用方法が難しかったり、普段から使用していなかったことにより、災害時に使えないケースも指摘された。かまどベンチなどの災害時を目的に使用される施設は、普段から使用機会を増やすなど、地域住民が馴染み、使用方法を周知していることが重要。

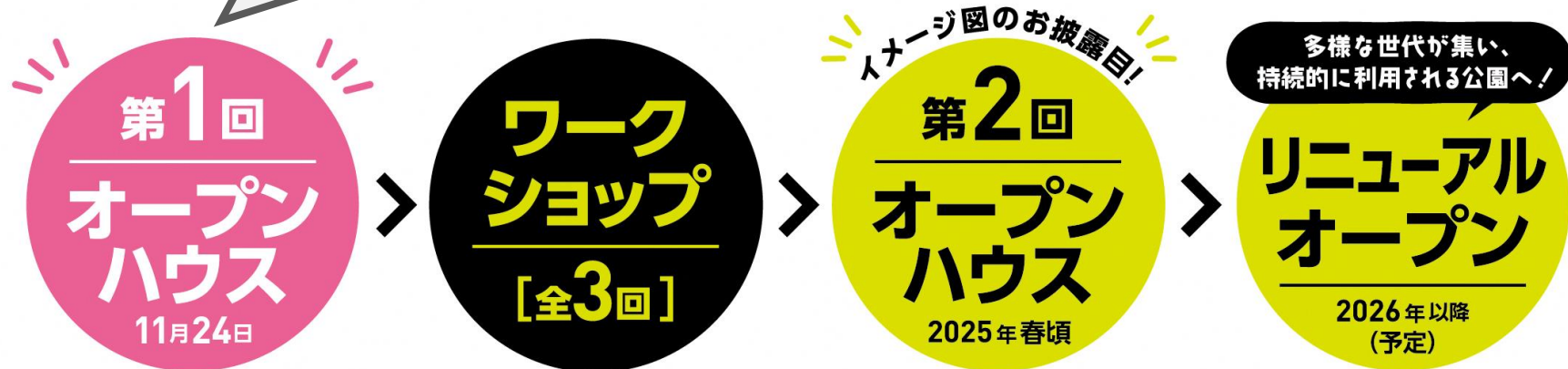


帯山さくら公園のかまどベンチ

ワークショップ等の進め方について

～スケジュール・ポイント～

- ・なるべく多世代かつ多くの周辺居住者に、リニューアルの概要を共有し、多くの意見を募る
- ・いろいろな公園での遊び方を実践してみる



- ・有志の周辺居住者を中心としたメンバーで、段階毎にじっくり、リニューアル計画について考える。
- ・公園の使われ方（ルール）を考えながら、理想的な運営体制についても検討をはじめ、完成後の運営体制の素地をつくる。

ワークショップ等の進め方について

～オープンハウス 2024.11.24～



オープンハウス とは？

オープンハウスとは、屋外のカジュアルな雰囲気の中で自由に意見交換などを行うイベントのことです。今回のオープンハウスでは、水道端公園・宮の本公園のリニューアルに向け、実際に公園で遊びながら「理想の公園について考えよう!」など各コーナーで、来場された皆様のお好きなタイミングで意見交換を行います。



オープンハウスの内容

- 「理想の公園について考えよう!」コーナー
- 「公園について学ぼう!」コーナー
- 「いろいろな公園あそびを体験しよう!」コーナー
(おもちゃあそび、モルック体験など)
- 「公園でまったりしよう!」コーナー
- 「遊んでみたい遊具総選挙!」コーナー

※天候の影響により、規模を縮小して開催する可能性があります。

ワークショップ等の進め方について

～ワークショップ～



ワークショップ予定[全3回]

※内容はワークショップの進捗等によって変更になる可能性があります。

2024.12月21日[土]
13:00▶16:00

白川地域コミュニティセンター
多目的ホール(予定)

公園のイメージを 考えよう!

オープンハウスで出た意見を踏まえ、各空間のテーマを確認し、ゾーニング案を検討します。

2025.1月25日[土]
15:00▶18:00

白川地域コミュニティセンター
多目的ホール(予定)

公園のアイデアや ルールについて考えよう!

遊具や施設をどこに配置するか?どうやって管理するか?
利用者が気持ちよく過ごすためのルールなどを考えます。

2025.3月9日[日]
13:00▶16:00

白川地域コミュニティセンター
多目的ホール(予定)

公園の基本プランを 考えよう!

これまで決めた意見を元にした基本プラン図を検討します。
グループに分かれて平面プラン図を検討し、意見を集約させます。